



変わらない「母の愛」

今回は、母親の立場から家庭教育の充実やPTA活動の活性化などに取り組んでいる県PTA連絡協議会母親代表委員会委員長の三野八重子さんからメッセージをいただきました。

お 母さんの魔法

ケガをした子どもが私のところに寄ってきたので、「よしよし」とさすってやると、それを見ていたしゅうとめが「お母さんの手は魔法の手やね」と言いました。さすっただけで決してケガが治るわけではないのですが、子どもの気持ちは落ち着くものです。「お母さんの不思議な力だなあ」と思いました。

料 理に心を込める

絵本や歌にあるように、「料理」にもお母さんの魔法をかけることができます。口に入るものですから、その思いは確実に子どもの心にしみ込んでいくのです。

しかし、目に見えないものなのでおろそかにしがちで、時間がないとつい手を抜いてしまいそうになります。どんな心でその料理を作ったのか、どんな食卓風景だったのか、そんな日常の積み重なりが子どもの心をつくると思い、心を込めることを意識しています。

規 則正しい生活習慣で

決まった時間に食べるということも、子どもの心の安定に関係してくると思います。

朝起きたときのみそ汁のにおい、「ただいま」と外から帰宅した時の台所に向かうお母さんの後ろ姿など、子どもは嗅覚や視覚を精一杯働かせて親の愛情を受け取ろうとし、それが温かな家庭の記憶となり、大人になっても心の安定につながるのです。

規則正しい生活の中に変わらぬ「母の愛」を込めることが子どもの心をはぐくんでいくのだと思い、自分自身の生活を見直しています。

今、母親にできること

母親は子どもにとっても大きな影響を与えます。それぞれの家庭で生活や価値観は違いますが、母親の役割の中で、できることから始めませんか。「お母さんパワー」を最大限発揮し、子どもたちを慈しみ育てていきましょう。



香川県PTA連絡協議会
三野 八重子さん